

第 21 期理事会議事録

日時:2009 年 11 月 14 日(土) 10:00~12:00

場所:都市センターホテル

出席者(五十音順):

宮本(会長),

荒武(幹事), 石川(東海), 上田(監事, 選管), 江口(会計), 加藤(関東), 河津(近畿), 菊地(総務), 後藤(広報), 佐藤(学術, 全国大会), 中谷(研修), 原(樺風会), 森(大学), 山崎(広報), 山瀧(広報), 大和(医学部同窓会)

1. 会長挨拶(宮本)

2. 第 6 回理事選挙結果報告(上田)

- ・いずれの役職においても定数を超える立候補者はおらず、無投票当選となった
- ・新理事の任期は 2009 年 10 月~2011 年 9 月。
- ・立候補者受付期間に立候補がなかった際の延長手続きについて検討する必要がある。

→ 新理事は総会で承認された。

3. 会計報告(菊地)

1) 第 20 期決算

- ・事業年度変更に伴う移行措置として、対象期間は 2008 年 4 月~2009 年 9 月の 18 ヶ月間である。
- ・今期の剰余金は 43 万円となった。
- ・アンケート調査にともなう収入と支出があった。
- ・メンバーシステムの初期設定費, 保守管理費の支出を行った。
- ・東海地方会の設立準備金として 10 万円を支出した。

2) 第 21 期予算

- ・来期は 80 万円の赤字となる見込みである。
- ・会員数は増加傾向だが、年会費の収入見込みは据え置いている。
 - 年会費のクレジットカード払いの際に手数料が差し引かれるため。
- ・第 21 回全国大会は関東での開催のため、返還金は少額に留まる見込みである。

→ 第 20 期決算および第 21 期予算は総会で承認された。

3. 部会報告

1) 研修・教育(中谷)

- ・学術と連携し、教育資料を産推研サーバーに期限付きでアップすることを検討する。

- 谷口教授の新型インフルエンザ資料をモデルケースとする。

2) 広報(後藤)

- ・ホームページ
 - 月 1~2 回更新している。
 - デザインを更新する予定である。
- ・メーリングリスト
 - 参加率は 84.3%(468/555)。
- ・メンバーシステム(Web での会員情報管理システム)
 - 2009 年 9 月より運用を開始している。
 - 年間利用料(保守管理費)は約 20 万円。
 - 管理者権限は総務, 会計, 広報, 幹事, 医学部同窓会事務局とする。
 - 新規入会手続きの分担は、総務, 会計, 広報, 医学部同窓会事務局で検討する。

4. 地方会報告

1) 関東地方会(加藤)

- ・2008 年 12 月 13 日に研究会を開催。参加者 69 名(医学部 1 年生 36 名, 担当教員 3 名を含む)。
- ・2009 年 2 月 21 日に研究会を開催。参加者 24 名。

2) 東海地方会(石川)

- ・2009 年 9 月 5 日に研究会を開催。参加者 28 名。

3) 近畿地方会(河津)

- ・2008 年 12 月 6 日に研究会を開催。参加者 33 名(医学部 1 年生 10 名を含む)。
- ・2009 年 7 月 4 日に研究会を開催。参加者 23 名。

4) 九州地方会(原)

- ・2008 年 12 月 13 日に研究会を開催。参加者 42 名。

5. 第 21 回全国大会報告(佐藤)

- ・参加者 173 名(医学部卒業生 95 名, 専攻科・産業保健学部卒業生 26 名, 来賓・招待者 35 名, 学生 17 名)。

6. 同窓会からの報告

1) 医学部同窓会(大和)

- ・藤代前会長より引継ぎ、今期から就任。
- ・同窓会 ML の参加率が 20%と低い。50%を目指し、赤煉瓦に案内文を掲載している。
- ・産推研の全国大会や地方会は、臨床で活躍している卒業生にも積極的に参加を呼びかけ、交流を深めるよう

に配慮してほしい。案内状用の宛名シールは同窓会から提供する。

2) 擲風会(原)

- ・2009年8月15日、ホテルクラウンパレス北九州において第21回総会を開催した。
- ・関東支部長は「おきゆなすの会」会長が就任予定である。
- ・東海支部長が選出された。
- ・医学部同窓会との連合会を作ることが提案されている。

7. 大学からの報告(森)

- ・「開学30周年記念事業」として、“H”マーク認定, EAP機関の認定を予定している。
- ・入学定員が105名に増えたことにより、教室が手狭になっている。
- ・他大学の影響もあり、推薦入学の応募者が減っている。
- ・専門職大学院を東京に設置することを検討している。
- ・保助看法改正を受けて、産業保健学部修士課程を設置することを検討している。
- ・中期目標・中期計画にある「産業医を毎年20名以上純増」は、コンサルタントや嘱託産業医も含めることを検討する必要がある。

8. その他

1) 調査研究への協力(菊地)

- ・調査研究2件への協力をした。
- ・今後、総務と学術が連携して、調査研究への協力申し込み対するフローチャートを作成し、それに沿って対応する。

2) 産業医大ロゴマーク使用に関するアンケート結果(宮本)

- ・アンケート結果
(省略)
- ・アンケート結果を受けての産推研理事会の見解
 - ・ロゴマークを使用することに会員の抵抗が強かったものについては、ロゴマークを使用しないように御配慮いただきたい。
 - ・病院の患者が使用するものに関しては、校章もロゴマークも使用しない(無表記)という意見も多かったことに留意されたい。
 - ・ロゴマーク使用を許容する意見が過半数であったものについては、大学の判断に一任する。ただし、ロゴマーク単独での使用を容認する意見は極めて少数であったことに留意されたい。
 - ・産推研の意向としては、一般的に医科大学の役割とされる「教育」「研究」「臨床」については校章を使い、それ以外はロゴマークの併用も可と考える、ということが原則とご理解いただきたい。

3) 理事会の開催時期の変更(荒武)

- ・日本産業衛生学会期間内の開催を中止し、全国大会時のみとする。

- 事業年度が10月～翌年9月となり、春期の予算・決算報告が不要になったため。
- ・理事会 ML を作成し、必要に応じて ML 上で議論する。
- ・対面での理事会開催が必要と判断された場合は、臨時の理事会を開催する。

4) 卒業生の新任教授のご紹介(荒武)

- ・医学部同窓会が赤煉瓦に掲載している
- ・産推研正会員の場合、全国大会の懇親会でご挨拶いただくことを検討する。
 - 判断は全国大会実行委員会に一任する。
 - 教授相当の判断は総務が行う。

5) 名誉会長の基準(荒武)

- ・名誉会長の候補者は、合計10年間以上にわたって会長職を務めた会員とする。

→ 内規として定める。

6) 全国大会の参加権(荒武)

- ・産業医大関係者であれば、非会員も参加可能とする。
 - 卒業生の場合、後日入会することを、口頭で約束していただく。
 - 後日参加者名簿と会員名簿を照合し、非会員卒業生には総務より入会案内を送る。

7) 非会員卒業生で産業保健に携わっている方の勧誘(荒武)

- ・専門医試験の合格者や卒後修練中の方等、名前が判明している方は、医学部同窓会が勧誘を行う。
- ・全体に対しては、広報が勧誘方法を検討する。

注:一般公開版のため、本来の議事録を一部改編しています。